

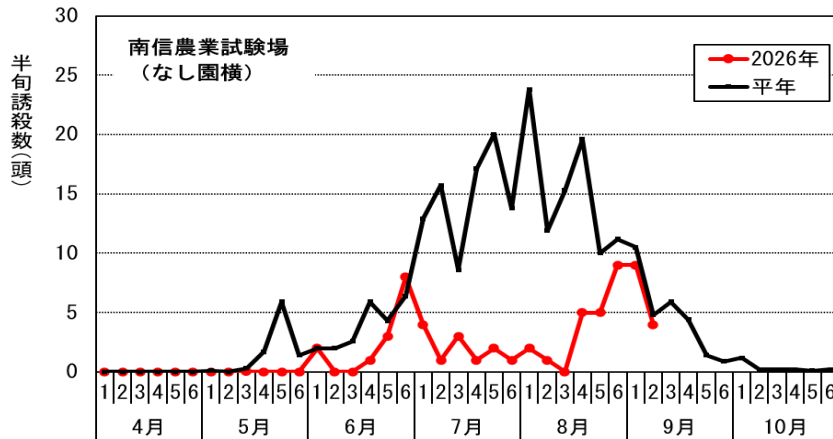
チャバネアオカメムシのフェロモントラップ誘殺消長〔令和8年(2026年)調査〕

病害虫防除部

【発生生態と防除のポイント】

- ・年1～2回発生する。
- ・落葉下で越冬し、成虫は山林から果樹園に飛来する。
- ・果樹園へ飛来する時期に殺虫剤を散布する。
- ・次々に新たな個体が飛来するので、発生が多い場合は5～7日間隔で、2～3回散布する必要がある。

○県予察ほ（高森町・南信農業試験場）



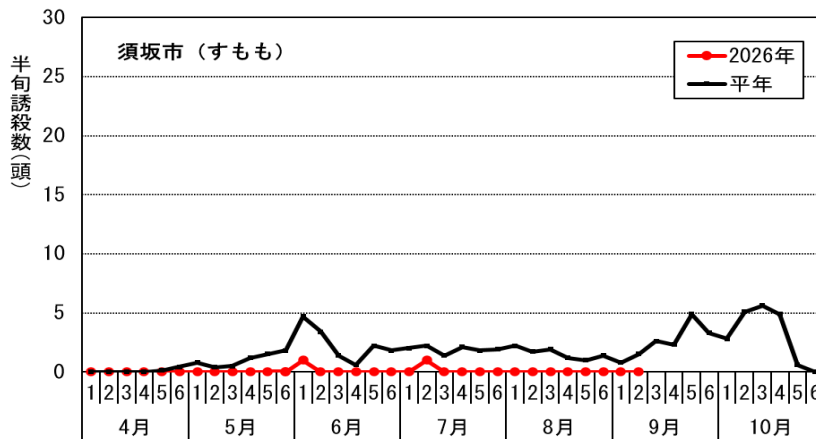
【調査地点】（標高560m なし園隣接地）

・平年は2016年～2025年の平均値。

【コメント】

・6月の一時期を除き、平年より少ない状況となっていた。8月末から9月の現時点にかけては、ほぼ平年に近い頭数が誘殺されている。

○須坂市（病害虫防除部）



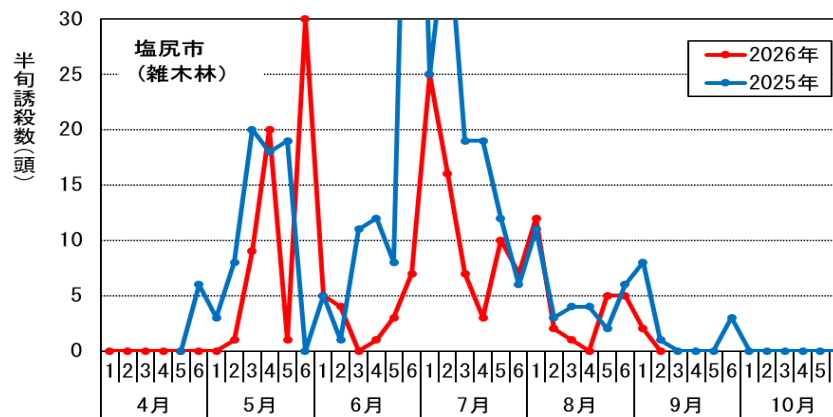
【調査地点】（標高370m すももほ場）

・平年は2016年～2025年の平均値。

【コメント】

・7月第2半旬に1頭誘殺されて以降、誘殺されない状況がまだ続いている。
・平年ではこのあと9月中旬以降、誘殺がやや増え、年間でも誘殺量が多くなる時期を迎えるが、9月第2は旬時点ではまだ増加の兆しはみられていない

○塩尻市（病害虫防除部）



【調査地点】（標高560m 雑木林）

- ・2025年から設置のため、平年値なし
- ・雑木林内に設置

【コメント】

・誘殺量は異なるが、誘殺のピーク時期などの消長パターンは、おおそ昨年と同傾向と考えられる。
・昨年は8月後半から9月前半にかけ小ピークを観察しており、本年も8月下旬に小ピークが認められた。